

共同研究参加者募集(事前講習会)のご案内

「高齢者の認知症患者と、その介護者に及ぼす鍼治療の影響の共同研究」

日本鍼灸師会ではこの度、東北大学 関隆志先生よりご依頼を賜り、「認知症患者の精神状態及び、介護者の介護負担度に対する鍼治療の影響」に関する研究に協力させていただくこととなりました。

つきましては、本事業の要旨をご理解いただき、是非ともご参加いただきたく、事前講習会のご案内をさせていただきます。今年度はパイロットスタディとして、関東圏・関西圏での先行実地となります。

下記、をご参照いただき、お申し込みください。

■開催日時：

1. 7月 2日(日) 日本鍼灸会館 9:00～17:30頃まで (受付開始は9時から)
2. 7月16日(日) 大阪府鍼灸師会館 9:00～17:30頃まで (受付開始は9時から)

■会 場；

1. 日本鍼灸会館 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-44-14
JR 大塚駅 南口より 徒歩 5 分 ・ 東京メトロ 丸ノ内線 新大塚駅 徒歩7分
2. 大阪府鍼灸師会館 〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-6
JR 東西線 大阪天満宮駅 1番出口 徒歩3分 ・ 地下鉄 南森町駅 3番出口 徒歩 8 分

■受講料； 5 千円・会員外:1 万円 ※実技に用いる鍼代別途徴収致します。(2 千円弱)

■募集定員； 各会場20名

■受講資格； はり師、きゅう師

■講習内容

①9:30～10:30;研究の概要説明

講師:東北大学 CYRIC サイクロロン核医学研究部 関 隆志先生

②10:30～12:30;検査項目の解説と実施時注意点の説明

講師:関 隆志先生 ・ 日鍼会 地域ケア推進委員会 吉村春生先生

③13:15～14:15;検査項目の実践ワーク

講師:関 先生 ・ 吉村先生

④14:15～15:15;鍼実技の解説

講師:吉村先生

⑤15:30～17:00;鍼実技の実践と、一日の振り返り

講師:関 先生 ・ 吉村先生

※検査項目;MMSE、NPI、GDS、Zarit 介護負担尺度等

■お申込み ;

1. 締め切り : 東京会場分 平成29年6月27日(火)です。
2. 締め切り : 大阪会場分 平成29年7月11日(火)です。

- ①下の申込書に必要事項を記入して、日鍼会事務局までFAXまたは郵送して下さい。
定員になり次第締め切りとさせていただきます。FAX 03-3985-6622
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-44-14 (公社)日本鍼灸師会 事務局 宛
- ②申込書受領の連絡をいたします。

■その他 ; 昼食時間は45分です。両会場共、会場内での飲食は可能です。
近くにコンビニ・飲食店があり、駅近辺にも飲食施設がございます。

■お問合せ ; (公社)日本鍼灸師会 事務局まで(03-3985-6771)、または
gaia7889@gmail.com ・ 090-8377-6343、 会員相互扶助事業 堀口 正剛
までお願い致します。

.....

認知症の共同研究事前講習会 受講申込書

私は、公益社団法人日本鍼灸師会の共同研究事前講習会を受講いたします。

1. 所属師会(あるいは所属団体)
2. 受講資格
3. 氏名(フリガナ)
4. 生年月日
5. 住 所 〒

6. TEL&FAX
7. 希望会場
8. 携帯電話番号
9. Eメール (大きくはっきり記入して下さい。)

@

連絡・登録及び資料の送付は上記に記入されたところへ送らせていただきます。

送信先 FAX:03-3985-6622

締め切りは、東京会場分は6月27日(火)、大阪会場分は7月11日です。

■ 公益社団法人 日本鍼灸師会 <会館案内図>



(公社)大阪府鍼灸師会(会館案内図)



「高齢者の認知症患者と、その介護者に及ぼす鍼治療の影響の共同研究」要旨

東北大学 CYRIC サイクロトン核医学研究部 関 隆志

日本鍼灸師会 会員相互扶助事業 業務執行理事 堀口正剛

1. 目的

「高齢者の認知症患者と、その介護者に及ぼす鍼治療の影響」
に関する共同研究の実施。

2. 方法

2-1. 試験参加鍼灸師

2-1-1. 募集と訓練

日本鍼灸師会（日鍼会）のホームページ及び会報に試験参加鍼灸師の募集の告知を掲載する。

応募者は原則、関東圏・関西圏在住者で、試験プロトコル及び手技の講習会（7月2日；東京、7月16日；大阪で、各1日の講習会を開催予定）の受講必須とする。

受講料；5千円

2-1-2. 認証

この講習を受けた日鍼会の会員を調査者として登録する。

調査者の氏名・職場を日鍼会のホームページに掲載する。

調査者には、それを認証した事を示す証明書を発行し、治療室や自身のホームページなどへの掲示を許可する。

2-2. 被験者

2-2-1. 被験者の募集方法とエントリー基準

65歳以上で認知機能が低下している日本人を対象とする。

日本鍼灸師会（日鍼会）のホームページに被験者募集の告知を掲載する。

会員の鍼灸治療室に調査への協力を呼びかけるポスターを掲示し、被験者を募る。

日鍼会から協力要請をする対象施設の、被験者希望する者のMMSEを評価する。

MMSE \geq 27の場合、対象外とする。

MMSE $<$ 27の場合、一ヶ月後に2回目のMMSEを評価する。

初回と2回目のMMSEの差が3点以上の場合、対象外とする。

差が2点以下の場合、研究内容を本人と家族などに文章と口頭で説明し、承諾書にサインをもらう。

2-2-2. 割り付け

試験参加鍼灸師を A 群または B 群に割り付ける。A 群の鍼灸師は手三里・足三里に毫針で治療を行い、B 群の鍼灸師はローラー鍼による治療を行う。どちらの群に割り付けるかは、鍼灸師の希望によるが、どちらの治療も可能な鍼灸師については、A 群と B 群の鍼灸師の数ができるだけ同数になるように、日鍼会担当者が割り付ける。

2-3. 調査項目

2-3-1. 認知症診断と認知機能

認知症の診断名：アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉型認知症、他。

中核症状は Mini Mental State Examination (MMSE)、鬱状態を Geriatric Depression Scale (GDS)、介護負担度を Zarit 介護負担尺度で評価する。

2-3-2. その他

性別、年齢、既往歴、鍼治療を既に受けている場合は鍼治療の開始時期からの年数、鍼治療を開始してから変化したこと。

2-4. 調査方法

調査データを記入する調査票を作成し、事前に調査者に配付する。

MMSE：鍼治療を開始する前 2 回と 3 ヶ月間の鍼治療の終了後の計 3 回、調査を行う。

GDS、Zarit 介護負担尺度は、鍼治療の前後の計 2 回行う。

記入の終了した調査票を、日鍼会で回収し、エクセルに入力する。

入力したデータを東北大学（関隆志）にて解析する。

2-5. 鍼治療

A 群は、手三里・足三里に寸 3・2 番鍼を得気にかかわらず 1cm の深さに直刺し、

15 分間置鍼ののち、抜針する。

※ 刺激手技は未定。

B 群は、ローラー鍼・てい鍼を用いて施術する。

頻度は週に 2 回とし、3 ヶ月間おこなう。(B 群の施術手順は、別資料ご参照)

3. 成果の発表

年1回開催される、アルツハイマー病協会国際会議

(AAIC;<http://www.alz.org/aaic/>)等で発表する。同時に、海外の認知症や老年医学に関する医学誌に論文を投稿する。また、日本国内の、全日本鍼灸学会や日本統合医療学会等の年次総会で発表する。

4. 研究費の獲得

研究を進めながら、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）などに研究費を申請し、更なる研究予算の獲得を目指す。

5. 期待される効果

国際学会および国内学会での発表、海外医学誌への掲載、研究費の獲得などの際には、研究協力者として「(公社)日本鍼灸師会」の名称をいれることで、日鍼会の評価が高まる。

また、日鍼会の知名度を上げ、会員の獲得に資することが期待される。

認知機能の改善効果等が示されれば、療養費の適用疾患追加や助成制度等、政府や自治体等への働きかける時の有効な材料となる。